

2013年度 大阪経済法科大学 春学期末試験答案用紙

【問題1】 次の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。（70点：5点×14）

現	金	備	品	前	払	金	前	受	金	発	送	費	租	税	公	課
当	座	預	金	商	品	券	預	り	金	未	収	金	給			
売	掛	金	立	替	金	貸	付	金	未	品	減	価	償	却	累	計
受	取	手	形	仮	払	金	買	掛	金	引	出	金	支	旅	費	額
売	買	目	的	有	価	証	券	未	払	金	支	払	手	数	料	受

		借方		貸方	
(1)	当店は、山形商店から商品¥140,000を掛けて購入した。 なお、引取費¥10,000は現金で支払った。	仕入	150,000	買掛金 現金	140,000 10,000
(2)	当店は、神奈川商店に商品¥240,000を販売し、代金は 後日受け取ることにした。なお、当方負担の発送費¥5,000 は現金で支払った。	売掛金 発送費	240,000 5,000	売上 現金	240,000 5,000
(3)	青森商店は、宮城商店に商品¥400,000を販売し、代金 は同店振り出しの約束手形¥400,000を受け取った。	受取手形	400,000	売上	400,000
(4)	当店は仕入先に対する買掛金 ¥500,000を支払うため に、得意先を支払人とする為替手形を振り出し、得意先の 引受けを得て仕入先に支払った。	買掛金	500,000	売掛金	500,000
(5)	埼玉商店は、所有手形（茨城商店振出しの約束手形） ¥250,000を取引銀行で割り引き、割引料¥4,000を差し引 かれ手取金は当座預金とした。	当座預金 手形売却損	246,000 4,000	受取手形	250,000
(6)	得意先富山商店に対して期間6ヶ月、利息年5%で貸し付 けていた貸付金 ¥500,000が本日満期のため利息ととも に同店振出しの小切手で返済を受けた。	現金	512,500	貸付金 受取利息	500,000 12,500
(7)	長野商店は茨城家具商店から事務用として机¥370,000 を購入し、代金のうち¥300,000は小切手を振り出して支 払い残額は月末に支払うことにした。	備品	370,000	当座預金 未払金	300,000 70,000
(8)	鳥取商店は、山口商店に商品¥250,000を注文し、内金 として¥30,000を現金で支払った。	前払金	30,000	現金	30,000
(9)	当店は、千葉商店に商品¥55,000を販売し、代金として 当店発行の商品券¥30,000と現金¥25,000を受け取った。	商品券 現金	30,000 25,000	売上	55,000
(10)	当店は、一時所有目的のために高松商事株式会社の株式 10株を1株@¥40,000で買い入れ、代金は小切手を振り出 して支払った。なお、手数料¥2,000は現金で支払った。	売買目的有価証券	402,000	当座預金 現金	400,000 2,000
(11)	従業員の出張にあたり、旅費概算額¥100,000を現金で 渡した。	仮払金	100,000	現金	100,000
(12)	今月分の給料¥600,000を支払うにあたり、所得税の源 泉徴収税額¥30,000を差し引き、手取金は現金で支払っ た。	給料	600,000	現金 預り金	570,000 30,000
(13)	営業用店舗兼自宅に対する固定資産税 ¥240,000の納 税通知書が送付されてきたため、小切手を振り出して納付 した。なお、この税金のうち30%は家計の負担である。	租税公課 引出金	168,000 72,000	当座預金	240,000
(14)	平成×4年1月1日に、備品を ¥200,000で売却し、代金は 月末に受け取ることとした。なお、この備品は平成×1年1 月1日に ¥500,000で取得し、耐用年数は5年、残存価額は 取得原価の10%である（減価償却は間接法で処理）。	備品減価償却累計額 未収金 固定資産売却損	270,000 200,000 30,000	備品	500,000

科 目	教員名	学籍番号	氏 名	採点
30750	2062	入学年度		
初級簿記	山根 陽一	E・L		
		番		

(裏面使用のときはこの位置を上段にして記入すること)

【問題 2】 次の決算整理事項に基づき、精算表を完成しなさい。なお、会計期間は平成22年1月1日から同年12月31日までの1年である。 (30点)

【決算整理事項】

- (1) 期末商品棚卸高 ¥4,200
- (2) 貸倒引当金 売掛金残高の 2% (差額補充法)
- (3) 備品減価償却費 定額法および間接法を採用
(取得原価 ¥9,000、耐用年数 10 年、残存価額は取得原価の 10%)
- (4) 売買目的有価証券の時価 ¥4,900
- (5) 保険料 ¥360 のうち ¥216 は 10 月 1 日に向こう 1 年間の支払金額である。
- (6) 利息の未払分 ¥30

精 算 表
平成22年12月31日

勘定科目	残高試算表		決算整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金 預 金	14,790						14,790	
売 掛 金	7,500						7,500	
売買目的有価証券	4,800		100				4,900	
繰 越 商 品	3,600		4,200	3,600			4,200	
備 品	9,000						9,000	
買 掛 金		5,175						5,175
借 入 金		6,000						6,000
貸 倒 引 当 金		90		60				150
備品減価償却累計額		810		810				1,620
資 本 金		27,000						27,000
売 上		46,425				46,425		
仕 入	29,310		3,600	4,200	28,710			
給 料	15,900				15,900			
支 払 保 険 料	360			162	198			
支 払 利 息	240		30		270			
	85,500	85,500						
貸倒引当金繰入			60		60			
減 価 償 却 費			810		810			
有価証券評価 (益)				100		☆100		
(前 払) 保 険 料			162				☆162	
(未 払) 利 息				30				☆30
当 期 純 (利 益)					577			577
			8,962	8,962	46,525	46,525	40,552	40,552

配点：5点×6 (☆は、勘定科目と金額が一致して5点)